

山形の母なる川

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ
令和元年8月30日発行
www.yamagata-rinri.net

vol. **58**



令和元年度会長挨拶 晋道純一
県会長職一年間を振り返って p.2
 倫理経営企業訪問・えがおのげんば
株式会社環境管理センター
 p.6-9

一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

広報 **最上川** vol. **58**

【発行】山形県倫理法人会
 【発行人】晋道純一 【編集人】土屋忠彰

【表紙題字】中村俊光氏

酒田南高等学校

毎朝、全校生徒で『職場の教養』を輪読。

進化する酒田南高等学校、
中原浩子校長にお話を伺いました。



TOPICS

自主性や論理的思考を育てる「グローバル専攻」や、持続可能な観光地域づくりを見据えた「観光・地域創生専攻」の新設など、多様性や個性を尊重しこれからのローカルを支える教育を実践している話題の酒田南高等学校。

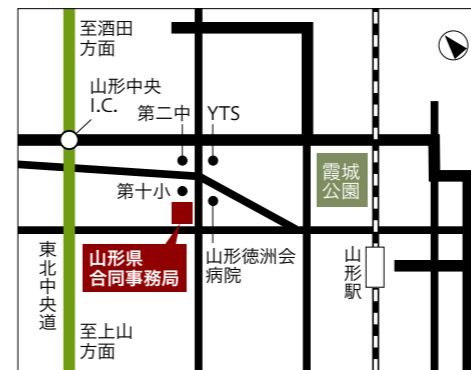
『職場の教養』導入のきっかけは2月に中原校長が酒田市みずほ倫理法人会で講話された時の事。佐藤清和会長の「子供の頃『職場の教養』に出会っていたら良かった」という何気ない言葉に「そうか！学校の朝礼で読もう！」と気づきを得たそう。中原校長の決断に協力しようと佐藤会長が毎月600冊をかき集めて学校に届け始めたのです。導入時の事を伺うと、まずはキーとなる職員の方一人ひとりに相談し、皆さん快諾されたとの事。生徒には「毎日たった3分1ページ読むだけで作文の起承転結の勉強になるよ」「フリガナがふってあるから漢字の読みの勉強になるね」「小論文のテーマに引き出しが増やせるよ」「これから就職する企業も読んでいるから、心づくり(マインドセット)になる」「欄外にある名所のコラム、1日1つ覚えるといいね」と、生徒側の心理に寄り添った説明をされました。各教室での朝礼運営は先生に一任しているようで、それぞれに合ったやり方を尊重されています。導入して約4ヶ月。「今の所問題ないから上手くいっているようですね！」

と、生徒側の心理に寄り添った説明をされました。各教室での朝礼運営は先生に一任しているようで、それぞれに合ったやり方を尊重されています。導入して約4ヶ月。「今の所問題ないから上手くいっているようですね！」

「人の目が気になり自信を持てず悩み多き思春期の子どもたちに『他人の思惑に振り回されて無駄に過ごす時間はもったいない。自分の未来を自分で創る時に大きな力になってくれるのがこの冊子なの』と伝えています」。笑顔でそう話す中原校長ご自身を表すキーワードは実に多彩。映画「おくりびと」に感動し広島から酒田に移住、千葉で100人の学習塾を経営、天才を育てた母、^{まさしま}榎島ほうきプロデューサー、東北公益文科大学特任講師、酒田南高等学校校長等々。未来思考、目的思考を育む中



原校長の言葉は自身が実践してきたからこそ生徒に伝わるのだなあと実感しました。
 広報副委員長 五十嵐久仁子



発行 山形県倫理法人会
 〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
 TEL.023-647-5582
 FAX.023-646-7660
 www.yamagata-rinri.net
 発行日 令和元年8月30日



編集後記

山形県倫理法人会
 広報委員長
 土屋忠彰

今年度最後となる「最上川58号」を発行することができました。記事を書いていただきました皆様には心よりお礼申し上げます。

発行のたびに、多くの方のお力でこの一冊が出来上がっていると感じます。

また「最上川」は、記事を書いてくださった方々や所属単会の魅力を発信する役割も持っていることに気付きました。

さて、広報委員長を拝命して一年を終えることができました。皆様方からいただいたお力添えのおかげです。ありがとうございます。



●8月9日、今期最後となる第8回広報委員会および新旧引継ぎ会を長井で開催しました。晋道会長にもご出席いただき、委員全員で校正を行いながら来期につながる良い議論ができました。

県会長職一年間を振り返って

山形県倫理法人会 会長 晋道 純一



昨年九月一日に、現在の安藤相談役から山形県倫理法人会第十一代会長職のバトンを受け継いでから早いものでもう一年になりました。この機に一年間を振り返ってみたいと思います。

一つ目、山形県倫理法人会の新しい形作りとして「地区制」を導入しました。目的は、四地区の横断的な情報交換やコミュニケーション力を高めて組織づくりと人づくりをしていく為です。導入初年度にもかかわらず四地区長から職務遂行にご尽力を頂きまして心から感謝いたします。

二つ目に、山形県倫理法人会が日本一の浸透率になったことです（山形県内企業数三八、七六〇社に対して会員企業一七五〇社で普及率四・五％）。引き続き今年度普及拡大目標一九〇〇社達成に向けて現在十六単会上下一心となり邁進中です（七月八日現在）。

三つ目、周年事業も目白押しに開催されました。山形市蔵王倫理法人会・鶴岡市倫理法人会・

酒田市倫理法人会が設立十五周年、新庄最上倫理法人会が設立十周年を迎えられました。四単会の会長はじめ会員の皆様、誠におめでとうございました。

四つ目、活力朝礼を導入して倫理経営を実践している会員企業が増えていると実感しています。倫理経営講演会の朝礼実演と朝礼基本マスター研修などの成果もあると感じ、非常に嬉しい事です。

五つ目、残念なまさかの出来事が続げざるに出現し、忘れられない年となりました。初代会長の本間利雄さん、初代会長を実務面で支えてくれた本間設計の伊藤善吉さん、鶴岡市倫理法人会初代会長の秋山周二さん、そして県副会長の早坂幸起さん、県幹事長の佐藤靖之さん。山形県倫理法人会の生みの親、山形県倫理法人会の歴史を作ってくれた先輩、山形県倫理法人会の将来に無くてはならなかった倫友。かけがえのない存在の方々と悲しいお別れをすることとなりましたが、私たちはしっかりと志を引き継いで一步一步進んで参ります。

結びになりますが、県役職者の皆さんはじめ全会員のお支えがあり一年間何とか大役を務め上げる事ができ、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

祝 目標達成式典

八月六日(火)

令和元年度目標達成式典がホテルメトロポリタン山形で開催されました。

山形県活動報告、各委員会活動報告が行われた後に、目標を達成された十単会（山形市、山形市蔵王、山形市、山形市中央、天童市、新庄最上、米沢市、酒田市、鶴岡市、庄内中央）と二地区（山形地区、庄内地区）に加え、前年度からの会員数増加率上位三地区（酒田市、新庄最上、上市市）が増加率表彰を、会員数二百名を超えた山形中央が会長賞を受賞されました。



受賞後に目標達成に向けた取り組みを発表する単会会長や地区長の表情には、一丸となって達成できた喜びが満ち溢れていました。祝一九〇六社達成（八月九日一七時現在）

第二期山形県倫理経営塾を終えて

八月三日土曜日、第二期山形県倫理経営塾の卒業式が行われました。

「純粋倫理」と「山形らしさ」を根底にして学ぶ場選ばれたクアハウス基点は、最上川の三

難所の一つ、基点関の

近くです。始めは小さな雫でも、時間が経つにつれて集まり、流れ、そして大きな海に達する旅。その途中にある急流は、激しさと凄みの中で、水と土地とを磨きます。人もまた同じで、何かを成し遂げようとすると人には苦難という形で、その心と身体を磨く機会が、与えられるのかもしれない。

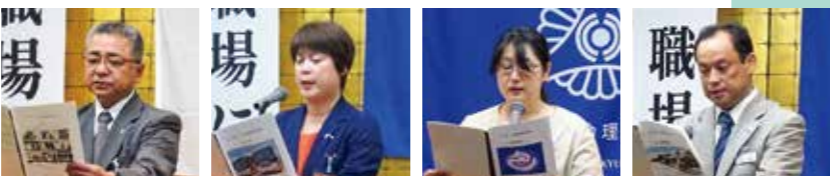
無事に卒業式を迎えた二期生の方々は、毎回の講義の中で、講師の方々、仲間との交流で心を磨きあい、そし

て素晴らしい結晶を創り上げました。その過程は決して楽なものではなかったでしょうが、これからご自身を支えていく一生の宝物になるでしょう。

～ 昨年は塾生として学んだ私達は、今年も運営委員として皆様に導く役割を頂きました。立場が変われば見方は変わり、学びは一段と深まります。ご自身で産み落とした結晶を、小さな雫とせず、やがて山形から世界へと流れるような大河となるよう、様々な方との関係を作り、深め、共に育んで行きます。

経営理念は北極星のようなもの。激流にもまれ、流され、迷っても、遙か天空に燦々と輝き、いつでも自分に道を指し示すものです。どうか理念と共に、皆様が揺るぎない足取りで一歩を進むことができますように。

卒業式はゴールではなくスタートです。ますます皆様が活躍なさることを楽しみにすると共に、お忙しい中足を運んで頂き、オブザーバーとして叱咤激励頂きました倫友の皆様、各単会



米沢市倫理法人会 島貫久、天童市倫理法人会 加賀善子、北村山倫理法人会 蔵野真貴、西置賜倫理法人会 土屋忠彰



酒田市倫理法人会 中村完人、北村山倫理法人会 奥山博貴、天童市倫理法人会 柴田一志、山形市中央倫理法人会 今田大介

の会長様を始め、普段の学びをさらに濃くしたエッセンスで惜しみなくご講義頂いた講師の皆様、そしていつもにっこり笑顔で私達を支えて下さる五十嵐塾頭はじめ様々な形で私達を導いて下さった運営委員の皆様改めてお礼申し上げます。来年は第三期が始まります。塾に興味がある倫友の皆様。ご参加を心よりお待ちしております。

天童市倫理法人会 青年委員長 佐藤宏太





山形市蔵王倫理法人会

十五周年記念式典及び祝賀会を令和元年六月八日(土)午後五時三〇分からモーニングセミナー

会場の山形グランドホテルにて開催しました。記念式典及び祝賀会には、山形県倫理法人会晋道純一会長、鈴木隆一法人スーパバイザー、中村恒一法人アドバイザーをはじめとする山形県倫理法人会の役員の皆様、小松幸弘山形地区長をはじめとする山形地区の単会会長の皆様、山形市蔵王倫理法人会の会員の皆様からご臨席賜りまして、誠にありがとうございました。

山形市蔵王倫理法人会は、平成十六年三月二十六日に山形市倫理法人会から分封され誕生しました。一一二社からのスタートでした。山形県としては五番目・山形市内では二番目の設立です。現在一七六社の会員数となっております。

初代が晋道純一会長、二



鶴岡市倫理法人会

七月三日、設立十五周年記念式典を、多くの方々のお力添えの基、滞りなく開催することが出来ました。

今回このような式典を取り仕切らせて頂き、多くの気づきを頂く事が出来ました。中でも、初代会長故秋山周三氏の想いに改めて触れる事が出来たのは感謝に堪えません。



誤解を恐れませんが、鶴岡市倫理法人会(つるりん)は、秋山周三ファンクラブではなかったのかなと思うのです。当初一〇七社でスタートした本会ですが、会員様、当初からの役員様を眺めても、当然私も秋山氏の大ファンであり、現役員は皆、秋山さんの教え子と言っても過言ではありません。式典を構成するに当たり、これまでの資料や氏が遺した多くの文章から、これまで一緒に歩んだ十四年と四か月の月日を想い涙が溢れました。つるりんは私で六代目の会長となるのですが、歴代会長からは「つるりんらしい会にしてくれよ」と申しつけられており、会長拜命以来「らしさ」を起点に会を運営して参りました。しかし、秋山さんから昨年暮れに超特急で旅立たれた後は、その存在があったからこそつるりんをどこに向かわせればよいのかさっぱり分からなくなり、気力すら無くしていました。

しかし、この式典を通じ改めて「つるりんらしさ」と向かい合うと「驚きと感動によって会員様に喜んで頂く事。その為には型に囚われない自在さを持ち合わせる事」このような言葉が浮かびました。そしてこの言葉がそのまま秋山氏を表していると思えたのです。つるりんの中に秋山さんはいると気が付いた時、これでもいいのだ、この方向で良いのだと背中を押し頂いたように感じました。

五年後の二十周年に向かって新しい一歩を踏み出すつるりんです。秋山さんそっちの世界は楽しいかもしれませんが、見守っていて下さいね。

会長 小林秀樹



新庄最上倫理法人会

二〇〇九年七月十七日に皆さまざまのご尽力のおかげで、新庄最上倫理法人会が設立されました。とうとうこの日、山形県内各地域に咲き誇った「倫理」が、最後の地域「新庄最上」に芽吹きました。

一市四町三村から構成する最上地域は、一六二二年最上氏の改易により、戸沢政盛が治めることとなりました。以後今日に至るまで新庄市を中核として最上生活圏を形成しております。四方を鳥海山、月山、神室連峰などに囲まれ深い原生林が多く残り、全国でも有数の「巨木の里」や、名湯の赤倉、瀬見、肘折



7月3日(水) 10:00~11:20 (3回目) 山形市成安「総合福祉施設 いきいきの郷」。指導は、唄：井上千春さん(民謡歌手)と梅津順子さん(健康運動指導手士)音楽と唄に合わせて、なんと140名を超える方が参加。



「音楽で健康体操」

会長 鈴木重幸

羽根沢。そして伝承野菜等が有名処です。さらには「最上川舟下り観光」が国内メジャーとなっております。そのような豊かな環境資源を生かし、環境と人とが共生して実現する「環境共生地域」をめざし、バイオマス開発とともに山形新幹線始発駅として先述の最上川船下りや

新庄祭りの観光推進に力点を置いています。さて、現在の新庄最上地域は人口七五、〇〇〇人。世帯数二、五〇〇。商工業事業所数約一、二〇〇。この地域での「倫理運動一〇年」は、八市町村からな



新庄祭りの観光推進に力点を置いています。さて、現在の新庄最上地域は人口七五、〇〇〇人。世帯数二、五〇〇。商工業事業所数約一、二〇〇。この地域での「倫理運動一〇年」は、八市町村からな

会長 高橋進一

えがおのげんば



■ えがおの人
鶴岡市倫理法人会 会長
小林 秀樹 氏
昭和52年 鶴岡市生まれ



■ えがおの現場
株式会社環境管理センター

[社長] 小林秀樹
[創業] 昭和52年
[所在地] 本社(浄化槽維持管理部門) / 鶴岡市白山字村北128-11
宝田営業所(廃棄物処理部門、アンカーズ) / 鶴岡市宝田三丁目 17-27
[事業内容] (一般家庭向け) 浄化槽維持管理、水管高圧洗浄、不要品・粗大ごみ回収処分、遺品整理・片付け支援、特殊清掃(消臭・除菌・害虫駆除)など(行政・事業所向け) 汚水処理施設維持管理、農業集落排水処理施設管理、排水管高圧洗浄、事業系ごみの収集運搬、産業廃棄物収集運搬処分など

折しも、取材にうかがった日は創業から四十二年となる記念すべき日。三代目として株式会社環境管理センターをけん引する小林社長は、仕事を通して社会貢献にも力を注いでいます。念願の新社屋の完成を前に、仕事に対する新たな考えと、倫理法人会への思いを伺いました。

倫理との出会い

大学卒業後にUターンし、地元の電気関連会社に五年間お世話になりました。二十七歳でこの会社に入ってから、技術経営学(MOT)を学びました。その授業の中で(株)片桐製作所の片桐鉄哉社長の講演を聞く機会があり、「二代目社長として」の話しに感銘を受け、会社訪問をさせていただいたのです。その時に片桐社長

が倫理法人会のことを話されて、「鶴岡市にも会があるよ」と知り、当時、鶴岡市倫理法人会の会長だった秋山周三さんにお会いしたことが倫理との出会いです。

「会社を良くするために入会したはずなのに」

入会したのは十四年前。当時、私は専務という立場でした。会員の多くは社長として頑張っているらしい

る方ばかり。経営面でも結果を残している方が多く、入会したものの「これをしなくちゃならない、こうしなければいけない」と思い過ぎてしまい、正直、焦る気持ちだけが強くなっていききました。自社の悪いところだけが目に入り、自分は何も変わらないせに社員に対する要求だけが強くなってしまったのです。

社内においては仕事に交通事故が発生したり、辞める社員も多くなり、業績も右肩下がりという、相手に求めれば求めるほど悪い方向にいつてしまうだけ。たぶん、その頃の自分は「何やってんの?」みたいな顔で社員に接していたと思います。「倫理の刀で人を斬るな」と言われますが、今思えば「会社を良くしなければ」



という思いを社員たちに押し付け過ぎていたのです。それから徐々に倫理を学ぶうちに、苦難があっても「この危機は何を教えてくれているのか」という発想の転換ができるようになりました。他人が悪いのではなく、自分の行動の何が悪かったのかを考えるようになっていったのです。まさしく、万人幸福の葉の二条「苦難福門」の教えがそれ。苦難があるからこそ、一歩が踏み出せるということですね。

倫理の本質が理解できるようになったのは会長になってから

会長と言っても私はいちばん年下。会の運営の難しさを実感しながらも、MSの講師の選定や連絡事項を会員に伝えてくれたり、会員一人ひとりに協力してもらっていること

に感謝の毎日です。会長になったことで人の有難さがわかり、自己肯定感を高めることができるようになりました。いくら年下でも、いくら実力がなくても会長は会長の仕事をこなし、会長らしい振る舞いをしなければならぬ。会社だって同じ。自信が有る無いに関わらず、社長なら社長の立場を果たさなくてはならないということがわかってきたのです。秋山さんという鶴岡のリーダーが失ったことも、これから自分たちがすべきことを考えさせられるきっかけとなりました。



仕事を通して地域貢献、「アンカーズ」に託された思い

当社では行政や企業だけでなく、個人の方から仕事を頂くことも多く、困っている方と繋がる業種です。私たちの仕事が社会に必要なものであることを具現化して伝えていくことで、仕事としての価値や会社としての存在が高まると思っています。そうした気持ちもあって、新社屋は



セミナールームや和室を併設し、地域の方々からサークル活動や様々な教室で活用してもらえようように考えました。新社屋が地域の活動拠点となればと願っているところです。

また、全国的にクロースアップされている高齢者問題や空き家問題をビジネス化し、社会貢献につながる取り組みも行なっています。それが二〇一三年に立ち上げた「アンカーズ」。「モノいっぱいからの解放による心の浄化」をミッションに、増え

すぎたモノの片付けや、遺品整理、特殊清掃・消臭除菌などを手掛けています。立ち上げるきっかけとなったのは、不動産業者からの切実な願いでした。それは、「孤独死をしている悲惨な状況でした。「家族だとしてたら技術面だけでなく、残されたモノにその方の面影を投影してしまつて片づけられないかもしれない。プロ中のプロでなければ対応できないだろう」と思いました。単に掃除だけでなく、こうした後処理の解決には行政書士のような知識や保険をはじめとする広い知識と、多くのつながりが必要になります。終活は一人ひとり異なるので、それぞれの立場に寄り添えるディレクターの存在がないと事が運びません。そうした時に倫理法人会のネットワークは強みです。様々な問題について相談できます。様々な問題については、涙ながらに三つ指を握り感謝されます。これほど喜ばれる仕事は少ないと思

います。「どこに頼んだらいいのかわからない」という方も多いのでしっかり発信していきたいです。

男性初の快挙！

「整理収納コンペティション」グランプリに輝く

「アンカーズ」の業務を遂行するため、社員全員が整理収納アドバイザーの資格を取得しています。私は、今年六月に開催された(一社)ハウスキーピング協会主催の「整理収納コンペティション二〇一九」に出場し、全国で男性初、県内では男女ともに初めてのグランプリをいただきました。ハウスキーピング協会の前代表理事の山田長司さんは、以前、東京都倫理法人会会長を務められた方で、協会の理念は万人幸福の葉の十一條「万物生々」の教えを土台に組み上げたものだそうです。私自身、整理収納アドバイザーの立場でエンディングノートと合わせ、終活をテーマにした整理収納講座を開いていますが、今後も地域の人が必要とする情報を広く発信していきたいです。

まずは朝礼から。社風の変化を社員のみなさんも感じています！



班長 大滝勝英さん、総班長 本間康之さん、営業担当 土田高志さん、主任 鈴木永さん、事務 吉住桃花さん、齋藤由佳さん、遠藤光さん

大滝さん(朝礼委員長) 当社では2S委員会(整理収納委員会)、車両委員会、朝礼委員会の3つの委員会があり、全員がいずれかの委員会に所属し活動しています。朝礼は、まだばらつきはあるものの、少しずつみんなで教え合いながら進めようという意識が出てきたと思います。

本間さん(車両委員長) 車両委員会では、車の整備や修理について一括で管理しています。例えば小さな傷があった場合は、大事に使ってもら意識を高めたいという思いもあり、メインで車を使用する現場の社員に修理の見積まで対応してもらい、最終的に私のほうで調整するようにしています。

土田さん これまで活動してきた整理収納委員会の他に職場の環境改善を目的とする2S活動を、今年1月からスタートさせました。今は少しずつ活動を浸透させているところです。

鈴木さん 初めは、我々よりも社長が一步進んでいるのでみんな足取りが重かったかもしれません(笑)。でも、このきっかけがなければできなかったことで、実際、意識が変わってきた社員が多くなりました。

土田さん 以前はただ漠然と言われたことをやっていた社員たちも、一人ひとりが優先順位を考えて行動するようになったと感じています。

遠藤さん 事務担当からその日の業務指示を出しているのですが、自分の仕事の段取りを考えて動いてくれるようになったように思います。また、先週掃除を担当した人が今週の担当者に「こうしたほうがいいよ」と教えている姿を目にするようになりました。

吉住さん 入社した時は、社員で掃除する様子を見て驚きましたね。

齋藤さん 会社を良くしようという意識が社員の中に生まれ、一人ひとりが考えて行動するようになったと思います。

- 大滝さん** お客様への対応の良さは他社に負けません
- 本間さん** 人間関係の良さが仕事にも繋がっています
- 土田さん** 「やるべきこと」をみんなでシェアできる体制
- 鈴木さん** 職場には、家にいるような安心感があります
- 遠藤さん** 社員各々を認め合っているので雰囲気良く、アットホーム
- 齋藤さん** 人数が少ないので自分の意見を伝えやすく、意思決定が早いところ
- 吉住さん** 現場の人達も気軽に話しかけてくれるので楽しく居心地がいいです

会社のイトコロは？

鶴岡市倫理法人会 気づきの報告

本当の私を見つけるための二年間

会長 小林秀樹

とにかく自信が無い、けどプライドだけは高い、苦手な人とは関わらない、人の悪い所を探す天才、というどうしようもない人間が私でした。

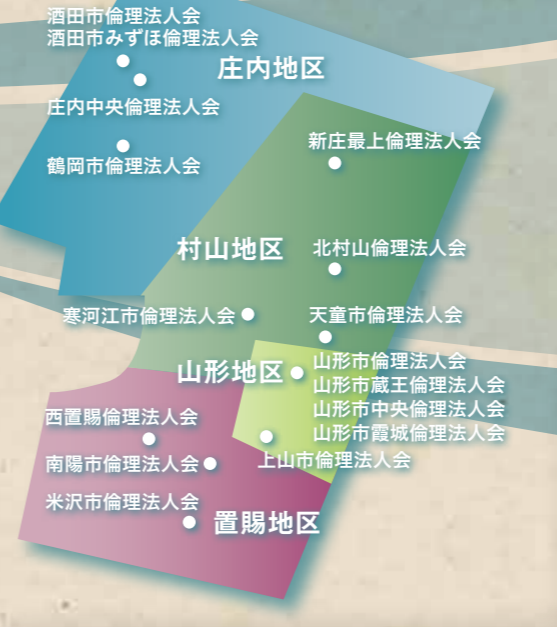
そんな私がよく会長を引き受けたものだと、感じます。しかし、これがチャンス始まりだったのです。これまでの人生でこんなに追い詰められ、そして自分と向き合った日々はありません。

会長としてのあるべき姿とは？家庭での、会社での私は本来の役割を果たしているだろうか？そして現状とのギャップに自分がかかりすることの連続でした。

だからこそ、こんな私ではだめだと、求める力が大きかったのでしょう。求めれば求めるほど、学びは深くなり、いつしか自分を受け入れ挑戦できる私に変化していました。その挑戦により壁を超えて行くと、世界は全く違う景色で映りました。これまで苦手と思っていた人は最高の先生となり、良い所はどんなものにもあると知ったことで、人生の選択肢が無数に増え、人生が変わって行きました。「こだわり」というちっちゃな私の殻を会長職という役が粉々に砕いて、全く新しい本当の私と出会うことが出来たのです。この二年間を頂けたことに心から感謝し、この頂いた宝物を大事に育てて参ります。

PICK UP NEWS

モーニングセミナー以外にも会員同士の交流の場がたくさんあります。各単会ごとの地域に根ざす活動や、倫理実践の気づきをご紹介します。



山形市中央倫理法人会 イベント報告

恒例の女性会員交流会(ナイトセミナー)開催!

女性委員長 設楽美保子



新規会員、ふぐ料理「麒麟」様にて、憧れのお店という事もあり十四名プラス三名(麒麟さん)と楽しく学び語り、料理も堪能し交流を深める事が出来ました!

普段MSに参加出来ない方が五〇%。また女性経営者三〇%、経営者の奥様三五%、次期経営者一四%、従業員二%という様々な立場の方たちで話が弾みました!

十七カ条斉唱から始まり、倫理に入会して思う事、学んだ事を話して頂きました。胸打つ沢山のお話に、今も感動が続いております!

また、松田会長に毎週発行して頂いている「来てける通信」は大好評、大人気!「毎回楽しみにしています!本当に良いお話なので、頑張つて朝いきたくない!今後よろしくお願い致します!」と皆様から会長への伝言もいただきました。

女性にとって、朝家を空けるのは厳しいものがありますが、交流の輪を広げ自分を磨き、家庭が円満幸せになる最良は、このような身近な集いの場が大いに役立つと再認識しつつ、本当に楽しい交流会でした!



山形市霞城倫理法人会 取組みの報告

第一回 企業訪問を 実施して

広報委員長 大宮幸男



リズムを刻む機械音、ロール紙からラベルが次々に生み出されていきます。それらは一つ一つが存在を主張しているかの様です。

山形市霞城倫理法人会第一回目の企業訪問を普通県会長の進和ラベル印刷株式会社本社工場に於いて、総勢十二名で実施致しました。デザイン力や印刷技術を磨かれ、世界的なラベルコンテストで幾度も最優秀賞を受賞されています。この度は会社の説明の後、工場を見学させて頂きました。忙しい中、皆様が笑顔で迎えて下さいました。それぞれの担当の技術力、営業の方の提案力に心を動かされました。

今回の企業訪問は学ばせて頂くことが多く、社員の方々から陽のエネルギーが溢れており、やる気を頂きました。今後も多様な企業様の訪問を是非計画させて頂きたいと思っております。



米沢市倫理法人会 ごあいさつ

会長職を振り返って

会長 村山順弘



今でも忘れません。「次期会長をあなたにお願いしたいです。」と言われて、倫理はハイだとわかって居ましたが、すぐには返事出来ず家族とも相談をし、自分を成長させる為と思い、お引き受けさせて頂いたのがスタートでした。特にお誕生日の花のプレゼントは、会員である各企業様を訪問させて頂いて、お忙しい時間の中、お話しをお聞き出来た事、本当に私を成長させて頂き私の宝物と成りました。

モーニングセミナーでの挨拶の言葉も今では、倫理に適っているのではないかと思っております。また富士研には六回、中国沙漠緑化六十二次隊員にも参加させて頂きました。全国の倫友と仲間になり相手に合わせる事がへたな私が、相手に合わせることも学びました。全て万人幸福の葉十七カ条であり、「明朗」「愛和」「喜働」の精神で心に刻み、これからも進んでいきたいと思っております。

また、市役所建替えて続けることが出来なくなりました花壇「米夢ロンド」。会員の皆様だけでなく、色々な方に協力頂き有り難うございました。米沢市倫理法人会も若い人達にパトントタッチし、女性会員も増えて益々活気のある単会になると思います。今まで支えて頂いた皆様に感謝申し上げます。有り難う御座いました。

寒河江市倫理法人会 会員紹介

笑顔の達人 鈴木さん

副会長 中西和則



TV番組『ポツンと二軒家』を見るのが楽しみなポツンコツ社長中西です。さて、変な写真でゴメンなさい。ウチの鈴木専任幹事は笑いの達人です。『ここで、よくおちゃらけられるなあ』内向的なポツンコツ中西も一緒にいると顔が綻んでしまっんです。この前、二人で撮った写真を送ってもらいました。こんな鈴木さんを『明るい人はいいなあ...』と、羨ましく思っていました。ですが実は、そうでもなかったそうです。

鈴木専任幹事は、以前は家でも会社でもイライラのし通でした。社長から「倫理法人会担当」に任命され、様々なながらもモーニングセミナーに出席するようになり変わりました。

会社ではお返しを求めない挨拶を心がけ、家では〇〇さん、お早うございます。今日も一日宜しくお祈りします。』と奥さんの名前を呼んで挨拶するようになったそうです。

お客さんに『鈴木さん最近、雰囲気変わったね』と言われるそうですよ。

酒田市みずほ倫理法人会 気づきの報告

海洋汚染とモラル汚染

専任幹事 阿部英明



倫理を学んでから犬の散歩中に、ゴミを拾う習慣が出来ました。

自宅の周囲、松林と範囲が広がり、今では海岸清掃まで広範囲になっております。海には韓国製のポリ容器から、日本製の魚業農業ビニール資材が多いのですが、一番驚かされたのは放置するゴミです。海から流れ着くのではなく、海に来た人が置いていくゴミです。クーヒ容器、パーベキューセット、花火、釣り餌容器と、大人がそのまま置いていくゴミは、とても心が寂しい思いにさせられます。しかし、これも道徳観や倫理の様な、心の在り方を学ぶことの出来なかった結果だと感じました。毎週多い時は八袋になります。でも、不思議と掃除をはじめて自分の周りに良いことが多くなつて参りました。掃除は今後も続けます。その影響が倫理と重なり、多くの人が他人や地球環境の為に、行動できる様な未来を夢見ています。

西置賜
倫理法人会
会員紹介

入会のご挨拶

新入会員 高橋弘和

本年六月度より西置賜倫理法人会に入会いたしました、合同会社M&H Communicationsと申します。

昨年、両親との同居を理由に横浜から飯豊町へ三十年ぶりにUターンし、横浜っ子の妻と二人、今年四月に当社を立ち上げました。会社の基本事業は、地元長井・西置賜の自然や観光、店舗や企業、また生活情報や個人の活動等、様々な情報を集約してネット上で紹介する地域情報ポータルサイト「まいぶれ長井・西置賜」の運営です。Webサイトは本年八月のオープンで、SNSを併用して情報発信していきます。

西置賜倫理法人会への入会のきっかけは、あるパスタアワーで一緒した会員の方からのお誘いでした。入会すれば他会員さんとお会いする機会が増えるため、自分の事業に有意義だと判断したのが正直な理由です。しかし今は、毎週のモーニングセミナーを受講する中で倫理の魅力を肌で感じ取り、本当に入会してよかったと思っています。

今後は長井・西置賜情報と共に、倫理法人会の魅力も発信していく所存です。



山形市
倫理法人会
取組みの報告

朝礼について

広報委員長 国島潤一

弊社(長門屋)は、平成二十一年から山形市倫理法人会会員になっています。毎日、朝礼と終礼を行っています。特に朝礼のやり方は当初から比べると随分わかりました。当初は、倫理法人会スタイルで行っていました。しばらくすると般若心経や神棚への祝詞を唱えるスタイルになり、現在は全く違うスタイルで行っています。

これは、朝礼の中にグッド&ニユーを取り入れるスタイルです。二十四時間以内にあった良いこと、新しいことなどを一人三十秒〜一分程度で毎日発表します。それ以前は、情報共有に重点を置いたものでした。慣れてくると、お客様情報しか話題にならず、お客様と接しなかった人は何も話さず、前日の終礼での話を長々と言ったりと仕事のこと以外お互いに関心が薄くなってきた感じがしていました。

そのような状況を感じ弊社代表からグッド&ニユーの提案があり早速取組みはじめました。目的としては、普段から色々なことに気づきを得ること、他の人の仕事以外での考え方を知ること、人に関心を持つことだと思います。

朝礼をどういう位置づけで行うかは経営者、リーダーの考えや、気持ちが大きいです。今後は弊社では朝礼を大切な時間と位置づけて工夫していきたいと思っています。



新庄最上
倫理法人会
ごあいさつ

設立十周年に寄せて

相談役 鈴木富士雄

長い人生には色々な事がある。日常の喜怒哀楽そして上り坂・下り坂・まさかなど。その時どのように対応したらよいか、万人幸福の芽を始めとする様々な形で純粋倫理が教えてくれた。そして倫理法人会は心の支えになってくれた。

一度しかない人生。死を迎えるまで学び続け成長したいと願っている私にとって、倫理法人会はコスト面でも最小経費で多くの学びを手に行うことができる最高の場です。

こんなに素晴らしい倫理法人会にも拘らず、この新庄最上の地で思うような浸透がなされていないことに初代の会長として自分の力不足を感じるところでもあります。この周年の節目に当たり創立時の思いを再確認する機会となりました。

当時の山形県倫理法人会では、県内で空白地域の最上郡に設立することが悲願でした。熱き思いの、県の中村会長・鈴木隆一実行委員長をはじめとした県役員、友情溢れる各単会の役員の皆様、それに県内各地よりはせ参じた多くの倫友のお力添えで設立することができました。そして十年が経過した今、忘れ

たくない創設の時の思い・目的意識を今一度あらためて記してみます。



- 一 目的意識を強固にする。(何のために新庄最上に設立したのか。目的意識を明確にする)
- 二 強みを更に磨きをかける。(純粋倫理の学びを深める)
- 三 親とのつながりを強化する。(設立の恩・協力を忘れない)

その御恩に報いることは、純粋倫理を深く学び浸透させて、夫婦を原点とした家庭、生活の基盤である会社の発展、そしてより良い新庄最上を創ると決意して覚悟を持って取り組むことである。「苦労が多いから辛いのではない、夢がないから辛いのである」という言葉があります。「地球倫理の推進」と「日本創生」を成し遂げるに苦労・困難は当然です。新庄最上の幸福な未来は我々倫理法人会の会員がリーダーとなって導いていくのだとの強い気概・覚悟を持って取り組んでいきたいと思います。次代を担う若手のリーダーと共に。

天童市
倫理法人会
実践報告

第十九期宮城倫理経営塾を卒業して

普及拡大委員長 中村友祐

涙あり笑いあり、経営塾の六ヶ月間は、自社の事業領域を何度も何度も問われ、戦略の薄さと理念との整合性を指摘され、落込む事ばかりでした。しかし毎回、魂のこもった熱い助言と塾生同士の絆に勇気もらい、感謝と利他が織りなす日々であり、人生道場そのものでした。非日常と心ぐせに向き合う事、大きく変化する社会と未来を俯瞰して見つめる事、志高く経営するための理念を成文化する事、卒業はスタートラインです。これらが本番です。



北村山
倫理法人会
気づきの報告

北倫ドリーイン五〇

会長 奥山浩哉

北村山の単会運営戦略が裏目に出た。今年度より始まった単会役員三十四人態勢で北村山を盛り上げよう。ドリーイン三〇は上位三〜四位をキープしつつも、ドリーイン五〇においては常に最下位。この七月、やるときはやるぞーと氣勢を上げて会長自ら電話でのお願い作戦。六日十四人、十三日十八人、二十日十四人、残すところ二十七日で、二十三名以上のドリーインを凶らねば達成できなくなるわけである。倫理経営塾の二期生にも助けられ、北村山のモーニングセミナー朝礼はとても活気づいている。講師陣にも恵まれ、やるのは今。役員活力こそが、北村山繁栄の近道、いや王道であると思う。

この一週間で振り返ってみても、いつもの普及活動にスパートをかけたかと思えば、会員企業でのヒアパーティのチケット販売に右往左往。頼まれことは試されごと。もちろん本業の社長業も二〇〇%でやりながらである。少しばかり、他単会のモーニングセミナーをお休みたいだいて、早朝からの一人作戦会議や原稿執筆を行う。自分で言つものなんだが、朝の使い方がうまくなった気がする。

愚痴を言ってる暇はない。やり切った先に見えるものが何なのか。会長でしか味わえない醍醐味である。結果はをっご期待!



女性倫理講演会&七つの原理

山形県女性委員長 佐藤 圭子



女性委員会活動全般に、皆様のご協力とご理解を賜りまして心より感謝申し上げます。

今期は2つの事業を計画いたしました。

一つは女性委員会が一丸となって取り組む「女性倫理講演会」。この事業は会員様からの強いご要望で決まりました。講師は元助産師の「山本文子」先生です。「輝くいのちのために」は、笑いあり涙ありの素晴らしい講演会になりました。いのちの誕生、男女の性、老人の性、そして身障者の性…。深く考えさせられ、大きな宿題を出されたような気がします。今回の反省点



は、もっとたくさんの方に聞いていただき、参加していただ



いた方からは「本当に良かった!」「涙が止まらなかった!」等々、沢山の感動の言葉をいただきました。

そしてもう一つ、通年事業として打ち立てたのは「七つの原理インプット会&アウトプット会」です。「この事業をしたい」よりむしろ「しなければならない」の心境でした。

沢山の会員様に学んでいただきたく各地区での開催を決め、各地区女性委員長さんに中心となっていただ

き、本当にスムーズに進みました。この事業の取り組みの発端は全国女性正副委員長会への参加です。各県の女性委員会の事業発表の中で盛んに「七つの原理」の勉強会を開催していることを知りショックを受けました。私と小野木副委員長は「七つの原理」を良く知らなかったからです。「17箇条」の基となった学びであることを知り、すでにその会場

で勉強会をすることを心に決めていました。

一昨年の初夏に晋道会長にご無理を言って講師になっていただき「七つの原理インプット会&アウトプット会」を寒河江市倫理法人会女性委員長である「出羽屋」で開催しました。それを経て今期は通年事業として取り組みました。

●第1回 平成30年11月17日〈庄内地区／南洲会館〉講師／(株) 酒田米菓顧問 佐藤茂氏／酒田市相談役。

●第2回 平成31年2月23日〈山形地区／山形グランドホテル〉講師／(株) でん六代表取締役 鈴木隆一氏／山形県相談役。

●第3回 同年4月20日〈置賜地区／東京第一ホテル米沢〉講師／(株) マルナカ中村商店 代表取締役会長 中村恒一氏／山形県相談役。合計112名のご参加をいただき、中には三回とも参加の会員様もいらっしゃいます。

そして「七つの原理インプット会」の総括といたしまして、令和元年7月27日村山地区で「七つの原理アウトプット会」を開催。東根温泉「あづまや」を会場に各単会の女性正副委員長が中心になって発表報告いたしました。3年間女性委員会に関わってきたこと、また七つの原理を学んでの自分の体験、家庭や職場、そして夫婦の関係、子供との関係、今まさに取り込もうとしている倫理の実践などハードルを低くして気軽に5分間発表していただく場となりました。

「学んで実践、そして体験発表」。今期の女性委員会の締めくくりとさせていただきます。

ありがとうございました。感謝。



酒田市倫理法人会 気づきの報告

人生は神の演劇、その主役は己自身である

副会長 後藤 守



私は、入会以来十七箇条の最後のこの言葉に助けられ、また物事を判断する基準として来ました。個人的に解釈したのは、私の人生は私が主役を演じる映画であり、常に私に向けてカメラが回っているという設定です。人生は順調な時だけではなく、望まない出来事や、受け入れにくいこと、困難な事が多々あるわけですが、そんな時、ネガティブになったり、悩んでいたその映画は面白いのだろうか？また、人生には常に選択を迫られる場面があります。そんな時、昨日の延長線にある簡単な選択か、今まで経験したことがないチャレンジ出来る選択なのか、どちらを選んだら面白い映画になるのだろうか？そのように考え実践して来ました。最初は目の前に立ちただかる壁があり、乗り越えても高くて、こんな壁どうやって乗り越えればよいのだろうか？と思うことが多々ありましたが、毎日チャレンジの選択を繰り返して、自分が乗り越えられない壁は絶対に現れないと考え、目の前の壁をどうにか乗り越えて来ました。今では、迷わずチャレンジ出来る選択を選び、目の前に現れる壁を楽しみながら乗り越える日々です。振り返ると、乗り越えてきた壁が全て経験値となり、完全にポジティブなマインドになり、様々な分野のノウハウをより深く幅広く持つことが出来、遂行するスキルを身に付けることが出来ました。自分が乗り越えられない壁は現れない。今越えなければ、いつかまた現れる。ならば今越えよう。これからは、自分の人生という映画をどのように演出して行くのか、楽しみながら倫理を学び続けて行きます。

上山市倫理法人会 気づきの報告

家庭の葉は 万人幸福の葉

会員 鈴木俊弘



六年前、私と妻との間に双子が誕生した。双子の育児はとてもハードで、いつしか妻の心身の負担がピークを越えた。そんな時、母が病気になる、母の看病やお見舞いで育児の時間が削られると、いつしか妻と些細なことで喧嘩をするようになった。「今我慢すればいつか笑い話になる」と思い続け、不機嫌そうな時は避けてしまい、更に悪化していった。どうしてよいかかわからず、最後はすがったのが「万人幸福の葉」。「苦难は幸福の門」と「夫婦は一对の反射鏡」は何度も読み返し、相手を改めるより自分を磨く努力を行うことに専念した。子供も六歳になり、新婚旅行を兼ねて、家族で沖縄へ行った。幸福を感じる旅だった。自分磨きで今必要なのは屁の仕方。子は親の仕草も実演する名優である…。

南陽市倫理法人会 気づきの報告

モーニング セミナーの力

専任幹事 青木 勲



毎週火曜日の朝は、何も言わなくてもモーニングセミナーが体に染みついていて、会員の方も相当数おられると思います。当会も五二〇回を過ぎ、ようやく成人を迎えた感があります。多くの講師の方が遠方よりおいでになり会員に気づきを教えていただき一人一人の小さな変化が、やがては、とても大きな力となり、過去から現在までの過ちを改めさせ、将来に向けては、若い方には私たちが反省したことを繰り返すことなく健全なる精神と身体を育成していただくことが、テーマに関わらずモーニングセミナーの意義ではないかと感じており、朝の貴重な時間を更に素晴らしい時間にするためにも、是非、参加してみよう。一週間のうちの二日、わずか一時間で人生を見直すことが出来ます。